

令和5年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 事業報告

1 会議事業

(1) 評議員会（6月24日：御船町カルチャーセンター／評議員38人※代理人含む、理事10人、監事2人、事務局1人）

- ・令和5年度本協議会加入クラブについて
- ・役員の交代について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度決算報告について
- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度予算について
- ・本協議会の組織体制について



(2) 理事会

①第1回（6月5日：県民総合運動公園陸上競技場／理事11人、事務局3人）

- ・令和5年度本協議会加入クラブについて
- ・株式会社イトメンとの連携について
- ・役員の交代について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度決算報告について
- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度予算について
- ・令和5年度各種事業の実施について
- ・本協議会事務局及び運営体制について

②第2回（11月13日：県民総合運動公園陸上競技場／理事10人、事務局3人）

- ・追加加入クラブについて
- ・株式会社イトメンとの連携について
- ・特別経営セミナーの開催について
- ・県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」について
- ・SCS研修会について
- ・令和6年度事業計画及び予算について
- ・令和6・7年度役員改選について
- ・本協議会事務局及び運営体制について

③第3回（3月18日：県民総合運動公園陸上競技場／理事12人、事務局3人）

- ・令和5年度SCS研修会について
- ・株式会社イトメンとの連携について
- ・令和5年度クラブ主催事業補助事業の実績について
- ・令和6・7年度役員改選について
- ・令和6年度以降の事務局体制及び業務分担について

- ・令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

(3) 常任委員会

①第1回（4月27日：県民総合運動公園陸上競技場／理事7人、事務局1人）

- ・令和5年度本協議会加入クラブについて
- ・株式会社イトメンとの連携について
- ・役員の交代について
- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度決算報告について
- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度予算について
- ・令和5年度各種事業の実施について
- ・本協議会事務局及び運営体制について

②第2回（7月13日：県民総合運動公園陸上競技場／理事6人、事務局1人）

- ・令和5年度クラブ主催事業補助事業について
- ・研修会の開催について
- ・県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」の実施内容について
- ・本協議会の組織体制について
- ・本協議会の各種事業について

③第3回（1月29日：県民総合運動公園陸上競技場／理事5人、事務局3人）

- ・SCS研修会について
- ・令和6・7年度役員改選について
- ・令和6年度以降の事務局体制及び業務分担について
- ・令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について



(4) 監査（5月10日：県民総合運動公園陸上競技場／監事2人、会長・事務局各1人）

- ・令和4年度事業及び決算に係る監査



2 交流事業

(1) 交流会・イベント補助事業

①ほくぶ総合スポーツクラブ（7月2日／ソフトバレーボール親睦・交流大会）

【目的】ソフトバレーボール大会の開催を広く県内に呼びかけ、種目の普及・啓発を図るとともに、参加者の親睦・交流を図ることを目的とする。

【内容】9人制バレーボールコートを使った男女混合6人制（男性は3名以内）によるソフトバレーボール大会の開催

- 【会場】北部中学校体育館、北部体育館 川上小学校体育館
 【対象】総合型地域スポーツクラブチーム及びソフトバレーボールを楽しんでいるチームならどなたでも参加可能
 【参加費】1チーム 参加費2,000円
 【実績】227人（29チーム）
 【成果】予想以上の参加を得て盛会に開催することができた。また、当日は参加者のケガも特になく、参加チーム及び参加者間の親睦と交流を図ることができてよかった。



②託麻西校区総合型スポーツクラブ（8月11・20日／熊本市総合型SC 学童野球親善交流会）

- 【目的】健全なる青少年の育成、野球技術の向上とクラブ間の親睦
 【内容】総合型地域スポーツクラブに属する野球チームの交流試合
 【会場】植木総合スポーツセンター
 【対象】熊本市で活動している総合型地域スポーツクラブ
 【参加費】1チーム2,000円
 【実績】250人
 【成果】殆どの大会がトーナメント戦での一発勝負のため、この大会はリーグ戦で順位をつけない特別ルールにしているので、全員が出場出来て、3つの賞を設け各チームの監督さんに選んでもらい、みんな喜んでいて、これを機に今後の交流に繋がっていくきっかけになると思う。
 時期が夏休みとあって、多くの大会が各地で開催されており、直前の参加キャンセルが2チームあった。



③クラブこうし（9月9日／ボディペインティング教室）

- 【目的】幼児の発育に役立てるため
 【内容】家ではなかなかできない事の一つ「色遊び」の実施
 【会場】三つの木の家
 【対象者】幼児
 【参加費】1人500円
 【実績】27人
 【成果】参加された幼児の保護者からは、「家では、なかなかできない内容だった」「また参加したい」との声も聞け、日頃できない遊びを親子で一緒に楽しんでもらえた。



④龍田地域なかよしスポーツクラブ（9月3日／スポーツフェスタ in 龍田「ジュニアサッカー大会」）

【目的】総合型地域スポーツクラブの小学生サッカー交流

【内容】総合型地域スポーツクラブの学童サッカー大会

【会場】龍田中学校及び龍田小学校運動場

【対象】熊本市の総合型地域スポーツクラブ所属の小学生

【参加費】1チーム3,000円

【実績】192人

【成果】サッカー大会を通して、総合型地域スポーツクラブ所属の小学生の交流とコーチのネットワーク化が図れた。

※記録写真なし

⑤フネッピースこやかスポーツクラブ（10月9日／御船パラスポーツ等体験会）

【目的】障がいのあるなしに関わらず、誰もが気軽に運動スポーツを楽しめる環境づくりを目的とする。

【内容】フライングディスク、ボッチャ、卓球バレー、卓球トランポリン、ガイドランナー体験

【会場】御船町スポーツセンター アリーナ

【対象】幼児～大人まで

【参加費】無料

【実績】大人42人、子ども（小学生以下）25人、指導者・スタッフ22人

【成果】幼児から大人の方、また障害をお持ちの方も含め多くの方に参加いただくことができ、さらに様々な方に全てのプログラムを体験いただくことができたのはとてもよかった。普段なかなか運動する機会がないという方の参加もあり、親子での参加も多数見られ、スポーツに親しむ機会を創出できた。更に多くの方々に参加いただけるように、周知の方法（町広報誌等）やイベントのネーミング等も今後検討の必要がある。運営面では、イベントの看板や体験種目の表示板等がなかったため、今後は設置を考えたい。



⑥NPO 法人 u&u Nスポ植木（10月28日／u&u カップ ジュニア柔道大会）

【目的】子どもたちの交流機会をつくる

【内容】柔道学年別個人戦

【会場】熊本市立五霊中学校 武道場

【対象】小学生

【参加費】 無料

【参加者】 48人

【成果】 全部で4つの道場から合計48名の小学生が参加してくれました。まだ経験の浅い子どもも少なくなかったが、交流や試合をする機会をつくれてよかったと思います。

当初1日開催の予定だったが、会場や審判員等の都合がつかず午前中の開催になってしまった。また、道場があまり広くないこともあり、人数の多いお申し込みを1件お断りすることになったのは残念でした。次回行う場合はそういったことも考え、会場手配などを行いたいと思います。



⑦NPO 法人 A-life なんかん（11月11日／パラスポーツ体験ふれあい卓球）

【目的】 スポーツを通じて障がい者の方たちと交流をはかり共生社会の実現に寄与する

【内容】 卓球競技者の障がい者の方たちとともに同種目の交流試合等を実施

【会場】 塩山食品体育館

【対象】 中学生～一般

【参加費】 無料

【参加者】 26人

【成果】 参加者のほとんどがパラ卓球に携わるのは初めてだった。

パラリンピアンや全日本チャンピオンなどのパラアスリートの方々のプレーを間近で目にしたこと、参加者自らが車いすを借りてプレーしたことは貴重な体験だった。健常者が遠慮がちな部分もあったが、競技レベルが高いと対等な立場で卓球を深めたことは、今後のパラスポーツ定着に貢献できたと思う。

参加者の層がジュニアから一般、スポーツ協会と多岐に渡ったこともよかった。初めての企画であったため、個人エピソードの紹介の時間と実際のプレー時間の配分が難しかった。次回の企画時には丁寧に打ち合わせを行いたい。



⑧NPO法人上天草スポーツクラブドリームズ（11月19日／ドリームズスポーツフェスタ2023）

【目的】 スポーツに触れ合う機会を提供し、スポーツの楽しさや様々なスポーツへの理解を深めるキッカケやスポーツを始めるキッカケづくりになること

【内容】 各種スポーツの体験イベント

【会場】 上天草市大矢野総合スポーツ公園 アリーナ・グラウンド

【対象】 地域住民、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加入クラブ

【参加費】 チャレンジスポーツスタンプラリー 1人200円

【参加者】 120人

【成果】 初めて体験するスポーツを気軽に誰でも行え、楽しそうに体験されていた。種目がそれぞれ工夫し、体験者を飽きさせないよう取り組んでいた。種目だけでなくニュースポーツやストラックアウトなど参加者が自分で選んで参加できる内容であったと思う。



⑨NPO 法人とみあい総合型クラブ（11月26日／ニュースポーツ）

【目的】 SC 会員と市民のスポーツ交流及びニュースポーツの普及活動

【内容】 ニュースポーツ（ボッチャ・モルック）大会

【会場】 熊本市立富合小学校体育館及び運動場

【対象】 とみあい SC 会員、富合市民及び県内 SC 会員

【参加費】 1チーム（600円～900円） *1チーム（6～9人編制）

【参加者】 選手169人 来賓・スタッフ31人

【成果】 老若男女、多世代の参加で終日歓声と笑顔に包まれ参加者間の親睦と交流が深められた。ボッチャ・モルックの普及・啓発に繋がり、大会後には早速用具の購入希望や体験会・講習会の依頼が寄せられている。
1チーム編成に幅を持たせたが、参加費徴収に手間取り今後検討の余地がある。
今後ともニュースポーツの普及・啓発に努め本大会を継続していきたい。



⑩日吉地域総合型スポーツクラブ（12月2日／2023 学童ミニバスケットボール交流大会）

【目的】 健全なる青少年の育成を図り、バスケットボール技術の向上並びに総合型地域スポーツクラブの親睦を目的とする

【内容】 レギュラーの部（男子）、レギュラーの部（女子）

【会場】 熊本市立日吉小学校・日吉東小学校体育館

【対象者】 熊本市内の総合型地域スポーツクラブで構成されたチーム

【参加費】 1チーム 3,000円

【実績】 17チーム（男子10チーム、女子7チーム）

【成果】 けが人が出ることもなく予定通り、進行することが出来た。
駐車場の目的として小学校のグラウンドの予約を忘れており、他の種目が行われていたため車の入れ替えの際に混雑した。



⑪長嶺地域スポーツクラブ（12月3日／ふれあい剣道大会）

【目的】 剣道を通したふれあいを行い、スポーツの発展に寄与する。

【事業】 学年別個人戦、ふれあい団体戦

【会場】 長嶺中学校体育館、長嶺中学校武道場

【対象】 熊本市総合型地域スポーツクラブ及び近隣の剣道場の小学生

【参加費】 1人1,000円

【参加者】 162人

【成果】 例年より参加者が増えた。ふれあい団体戦がよかったという感想をいただいた。広報機関に情報提供して取材をしてもらうことが必要である。総合型地域スポーツクラブの活動をどんどんアピールしていく必要がある。



⑫NPO法人桜木ふれあいスポーツクラブ（12月9日／桜木ふれスポジュニアサッカー交流会）

【目的】 総合型地域スポーツクラブの子ども達が日頃の活動の成果を発揮する機会として、またクラブ間の交流を深める場として実施する。

【内容】 オープン（代表の部）とエンジョイ（親睦の部）に分かれ、午前中はリンク戦またはリーグ戦を行い、午後はその成績を元に順位決定リーグを行う

【会場】 桜木ふれスポパーク、桜木小学校、桜木東小学校

【対象者】 熊本市内の総合型地域スポーツクラブ所属のチーム

【参加費】 1チームにつき3,000円

【実績】 200人

【成果】 12月と思えないほど暖かい日で、子ども達はとても活発にゲームに臨み、日頃の練習の成果を発揮していた。チームワークもよく応援も頑張っていた。またクラブ間の親交も深まったようである。試合時間を短くして、1チーム3～5回の試合を体験したが、決勝トーナメントは時間を長くしてもよかった。午後の順位戦で会場移動はスムーズにできた。



⑬嘉島湧く湧く元気クラブ（1月28日／モルックフェスタ）

【目的】総合型地域クラブの PR、周知と地域住民の交流総

【内容】モルックの体験を開催。集客を増やす為、運動あそび広場として、アクティブチャイルドプログラムの体験会も同時開催した。

【会場】嘉島町総合運動公園東エリア（熊本県フットボールセンター芝生広場）

【対象】嘉島町民、及び、嘉島湧く湧く元気クラブ会員

【参加費】500円/1人（運動あそび広場のみ 200円/1人）

【実績】98人（運動あそび広場35名）

【成果】想定を超える参加者の集客ができ、地域住民の交流の場となった。モルックの体験がとても好評で、参加者に喜んでいただけた。補助金分を上乗せしたマルシェチケットを配布したことにより、参加者にチケット以上の買い物を促すことができ、キッチンカーの売り上げに貢献することができた。想像以上の売り上げに、次回からの協力体制の約束もいただいた。補助金をいただいたおかげで、モルックとマルシェの同時開催での集客の確認ができたイベントとなり、次年度の計画がより良きものになった。参加者の満足を得られたことにより、健全なイベントを開催する、公益的なクラブという PR ができた。クラブにとって、とても効果的なイベントとなった。

モルックの体験会場所と受付の場所が離れてしまったため、遅れてくる参加者の対応が手薄になった。スタッフ不足の問題。

当日参加者が多く、受付をしたため、モルック体験のコートを1コート増やす形となった。増える前提としての計画が甘かった。集客のために、運動あそび広場を同時開催したが、スタッフの拘束時間が長くなったので、モルックフェスタだけでの開催でもよかったという意見もあった。嬉しい悲鳴で、キッチンカーの売り上げが良すぎて、長蛇の列となり、待ち時間も長くなってしまった。



⑭NPO 法人スポレク・エイト（2月24日～25日／スポレク・エイトカップジュニアサッカー交流大会）

【目的】総合型地域スポーツクラブの交流を深め、サッカーを楽しむ子ども達の笑顔で熊本を元気にしていく。

【内容】ジュニアサッカー交流大会

【会場】城山公園運動施設 グラウンド、フットサルコート

【対象】総合型スポーツクラブ U-12, U-9

【参加費】U-12, 2日間 8,000円、U-9 1日 4,000円

【参加者】U-12, 16人×16チーム + 指導者各1～2人

U-9, 10人×12チーム + 指導者1人

【成果】総合型地域スポーツクラブのサッカー交流ができた。

24日は城山公園運動施設を全面使用で、たくさんのチーム、子ども達が参加した。この大会で新しい繋がりができたため、今後の交流も活気づくと思う。子ども達も優勝メダル、チーム敢闘賞メダルに向けて頑張っていました。参加チ

ームからも「来年もぜひ呼んでください。」と、好評でした。



3 研修会事業

- (1) 研修会（6月24日／御船町カルチャーセンター）※評議員会と同日
 - ・中学校における休日の部活動の地域移行について
 - ・講師 熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課スポーツ振興班
指導主事 有働秀樹
 - ・実績 39人
- (2) 特別会計セミナー（9月2日／光の森町民センターキャロップア）
 - ・経理、税務、インボイス制度について
事務局力アップのための取組について参加者同士で意見交換
 - ・講師 税理士法人K・T・Two 税理士 草野 宏隆 氏
 - ・実績 16人
- (3) 研修会（12月16日／合志市総合センターヴィーブル）
 - ・全体会「今後の総合型地域スポーツクラブに求められること」
～施策から現場まで産-官-クラブの本音を聞きたい！～
 - 講師 小国ゆうあい倶楽部 クラブマネジャー 山中清志氏
南関町教育課長 城野和則氏
公益財団法人熊本県スポーツ協会 クラブアドバイザー 野島弘宣氏
(天草市スポーツコミッション 戦略マネジャー)
 - ・分科会①「中学校部活動の週末移行の現状」
講師 玉名市教育委員会スポーツ振興課コーディネーター 中山直幸 氏
 - ・分科会②「できた！」が実感できるマット運動のすすめ～低学年実技編～
講師 NPO法人A-lifeなんかん 小川正希 氏
 - ・実績 45人



4 ブロック別事業

- (1) 北ブロック
 - ①第1回連絡調整会議（8月10日／zoom：10クラブ10人）
 - ・SCS研修会について
 - ・令和5年度北ブロック交流会について
 - ・SCS連絡協議会研修内容について
 - ②第2回連絡調整会議（12月12日／合志市ヴィーブル／8クラブ8人）
 - ・SCS研修会の内容と事前打ち合わせ

③第3回連絡調整会議（3月23日／立呑み食堂ねぎぼうず／4クラブ6人）

- ・令和6年度役員について

④交流会（11月24日／えがお健康スタジアム／6クラブ8人）

- ・「元広告マンの失敗から学ぶ人との向き合い方」

クラブマネジャーとして人との向き合い方を円滑にするヒントを学び・声かけや言い方などを学んだ。

- ・講師 株式会社Grass family 代表 萩野孝史 氏



（2）中央ブロック

①総会（5月18日／アクアドーム／19クラブ18人）

- ・役員(案)、事業報告(案)、事業計画(案)、部会編成(案)の決議

②第1回連絡調整会議（6月29日／熊本市中央公民館／16クラブ17人）

- ・登録認証制度について

- ・体力テストについて

- ・熊本市立小中学校施設夜間開放についての業務内容の説明

③第2回連絡調整会議（8月29日／熊本市中央公民館／17クラブ18人）

- ・10月22日開催の全体交流会について

- ・指導者講習会について

- ・熊本市ホームページ各クラブ紹介について

④第3回連絡調整会議（10月19日／熊本市中央公民館17クラブ18人）

- ・10月22日開催の全体交流会について

- ・令和5年度育成フォーラムについて(案)

- ・第16回全国クラブサミットについて

- ・中学校部活動検討会 中間報告概要報告

- ・小学校部活動の社会体育移行調査について

⑤全体交流会（10月22日／アクアドームくまもと／14クラブ144人）

- ・ミニバレーボール（大人）

- ・ドッジビー（子ども）

- ・モルック・ボッチャ（オープン参加）

⑥第4回連絡調整会議（12月7日／熊本市中央公民館／16クラブ17人）

- ・令和5年度育成フォーラムについて

- ・生涯スポーツ・体力づくり全国大会2024の参加について

- ・クラブ調査について

⑦育成フォーラム（1月27日／熊本市総合体育館／19クラブ71人）

- ・講演「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」

講師 スポーツ庁 鴨志田 氏

- ・講演「熊本市の中学校部活動改革について」

熊本市教育委員会 松永 氏

- ・分科会 「総合型地域スポーツクラブの課題と連携」

⑧第5回連絡調整会議（3月15日／熊本市中央公民館18クラブ19人）

- ・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について
- ・令和6年度部会編成（案）について、役員改選について
- ・全体交流会、育成フォーラム報告
- ・放課後子どもスポーツ教室について

⑨スタッフ交流研修会（3月16日／熊本市中央公民館／14クラブ52人）

- ・講話「総合型地域スポーツクラブ交流会、運営等のノウハウ」
講師 龍田地域なかよしスポーツクラブ 会長 西島 徹郎 氏
- ・グループ内意見交換会「クラブ運営上の成功例や課題について」
7班にわかれて議題について協議し最後に発表



(3) 南ブロック

①第1回連絡調整会議（5月7日／宇土市民体育館／18クラブ18人）

- ・令和4年度事業実績報告並びに会計報告について
- ・令和5年度事業計画案並びに収支予算案について
- ・南ブロック交流会について

②第2回連絡調整会議（10月10日／宇土市民体育館／10クラブ10人）

- ・南ブロック交流会について

③第3回連絡調整会議（2月27日／宇土市民体育館11クラブ12人）

- ・交流会について
- ・令和6・7年度南ブロック役員について
- ・令和6年度第1回連絡調整会議について

④交流会（12月3日／熊本県立天草青年の家／6クラブ30人）

- ・千元の森岳登山
- ・火起こし体験



5 その他

(1) 障害者スポーツコンソーシアム「パラスポーツくまもと」

①第1回会議（6月28日／南関町役場／理事長、事務局各1人出席）

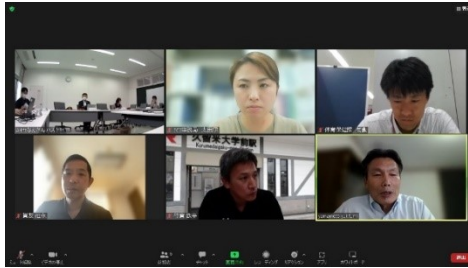
- ・令和5年度事業概要について

②第2回会議（8月25日／県民総合運動公園陸上競技場／事務局1人出席）

- ・令和5年度事業の進捗状況について
- ・旅費等の支給規程について
- ・令和6年度に向けて構成員から提案

③第3回会議（12月22日／熊本市民会館／理事長、事務局各1人出席）

- ・令和5年度活動状況について
- ・令和6年度事業計画について
- ④第4回会議（2月28日／オンライン／事務局1人出席）
- ・令和5年度活動状況
- ・令和6年度構成団体及び事業計画



- (2) 県民スポーツの日（10月9日／御船町カルチャーセンター／理事長、事務局各1人出席）
- ・フネッピーすこやかスポーツクラブと連携し、県民スポーツの日の一環として実施。
- ・フライングディスク、ボッチャ、卓球バレー、卓球トランポリン、ガイドランナー体験
- ・実績 89人



(3) 九州ブロッククラブネットワークアクション2023

- ①実行委員会（7月25日：オンライン開催／事務局1人出席）
- ・九州ブロッククラブネットワークアクション開催に係る協議（開催形式の検討、本番プログラム
- ・内容・日程表の検討・講師、事例発表者の検討、本番の運営体制（役割）の検討、参加
- ②九州ブロッククラブネットワークアクション2023（12月9～10日：大分県立芸術文化短期大学／会長、事務局各1人出席）
- ・共通プログラム「運動部活動改革について情報共有」
スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 鴨志田暁弘 氏
- ・講演「総合型地域スポーツクラブは部活動改革の先に何を見出すのか」
地域スポーツクラブ活動アドバイザー（NPO法人新町スポーツクラブ理事長） 小出利一 氏
- ・パネルディスカッション「聞いちゃくれ！私のまちと地域愛」
パネリスト（鹿児島県）沖永良部スポーツクラブELOVE 代表 前田純也 氏
（佐賀県）白石町学校教育課新しい学校づくり係 下平博明 氏
（大分県）NPO法人虹 理事 岩尾雅弘 氏
コメンテーター NPO法人新町スポーツクラブ 小出利一 氏
大分大学教育学部 教授 谷口勇一 氏
- ・分科会A 「地域への想いは運動部活動改革をどのように加速させるか？」
コーディネーター 佐賀県クラブアドバイザー 松井結華 氏
コメンテーター 白石町学校教育課新しい学校づくり係 下平博明氏
- ・分科会B 「地域愛から生まれた総合型クラブの経営スタイルとは？」
コーディネーター 鹿児島県クラブアドバイザー 永田智和 氏

- コメンテーター 沖永良部スポーツクラブELOVE 代表 前田純也 氏
- ・分科会C 「地域の将来性を考えて総合型クラブとスポ少を連携してみた！」
- コーディネーター 大分県クラブアドバイザー 鈴木夢希 氏
- ・コーディネーター、コメンテーターによるまとめ
 - ・日本スポーツ協会からの情報提供
- 説明 公益財団法人日本スポーツ協会 クラブ育成課長 吉田優子 氏



- ③SC全国ネットワーク総会（2月19日：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE／会長1人出席）
- ・令和6年度総合型地域スポーツクラブ育成計画・予算について
 - ・総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027の進捗状況について
 - ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 認証制度について
 - ・令和5年度SC全国ネットワーク専門部会の取組について